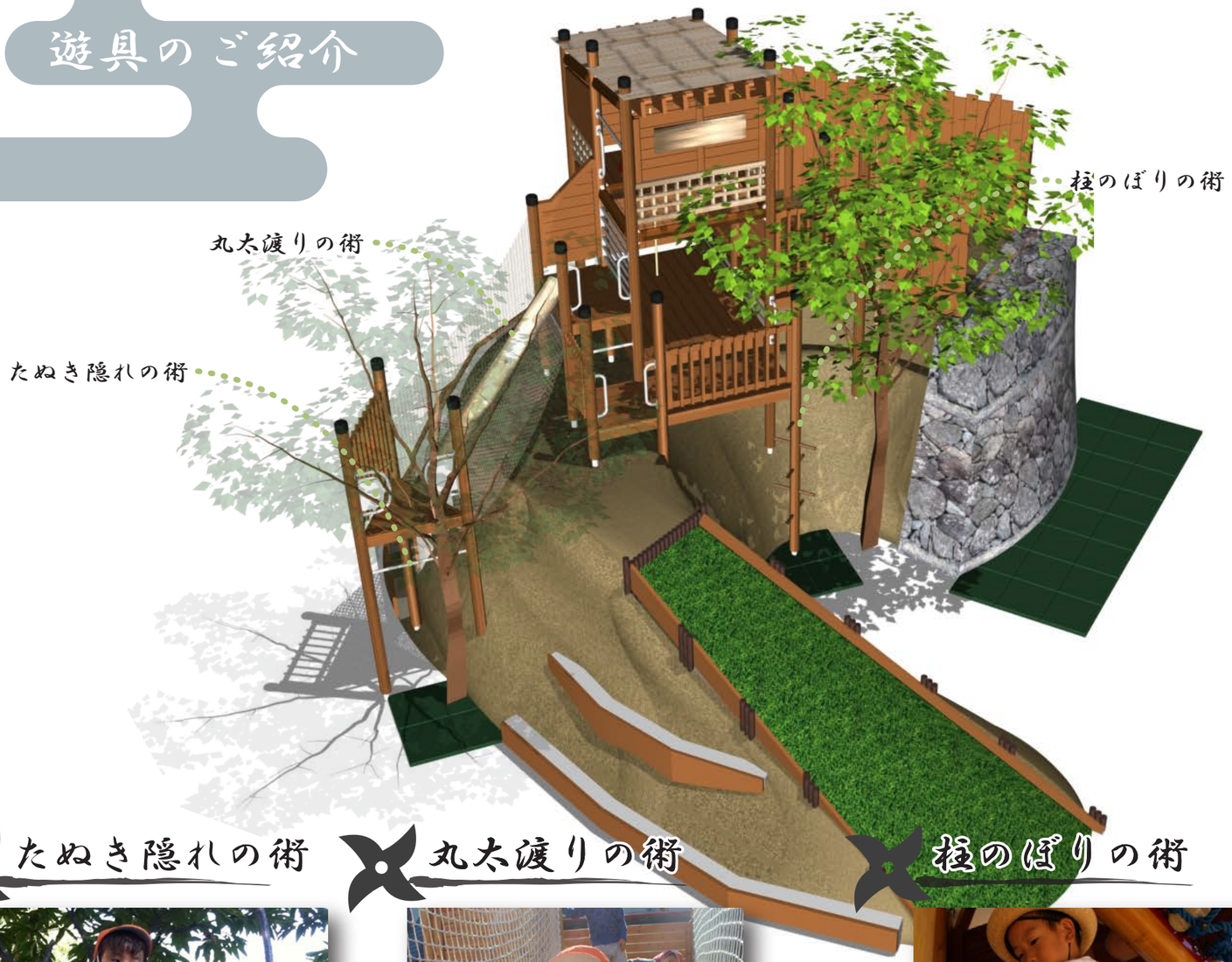
遊具のご紹介

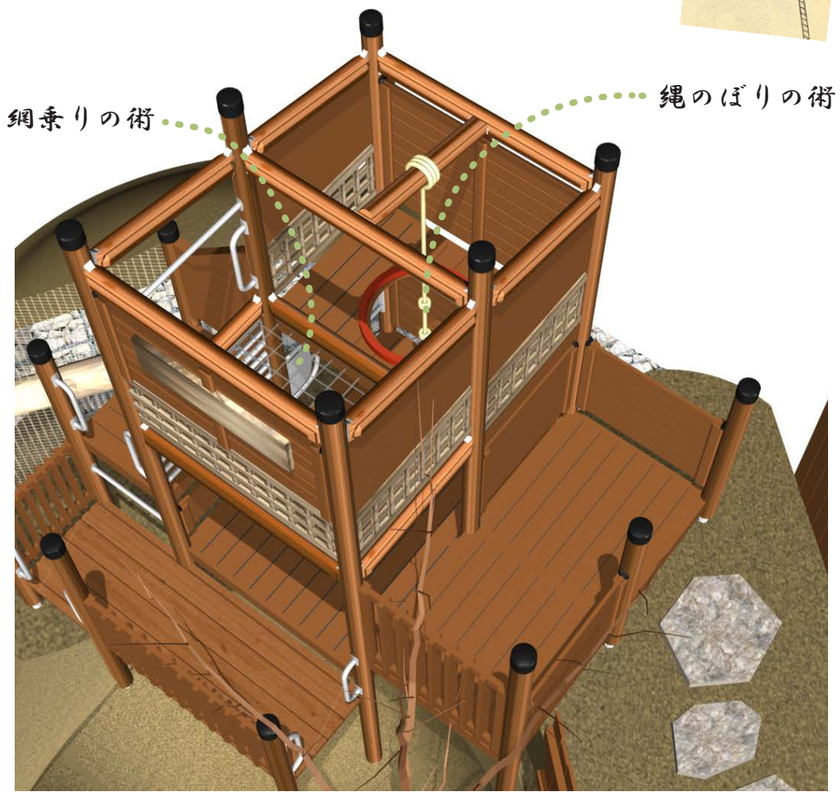


網乗りの術

床の一部は三角形のネットになっています。床下が透けて見えるので、ちょっとスリルのある場所です。

縄のぼりの術

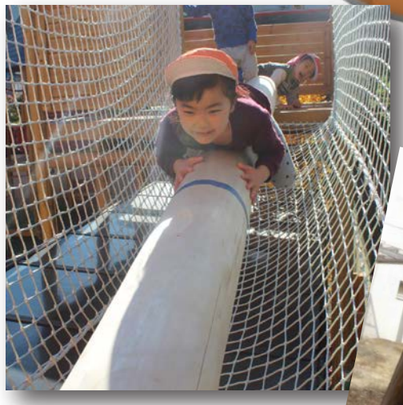
不安定に揺れるロープを登るのは至難の業です。腕の力で身体を引き上げ、よじ登ります。



たぬき隠れの術

忍者のように木を登ってみましょう。そばの床に乗り移ることで、遊具にもアクセスできます。

丸太渡りの術



大きな丸太を渡ります。水平ではなく高低差があるので、より難度が上がります。丸太の両側面は切り欠いて足がかりを作ります。

柱のぼりの術

支柱から生えたバーを使って木登りのように柱を登ります。次にどの場所に足をかけて、どのように身体をひねればいいか、考えながら登る必要があります。

駆けあがりの術

人工芝の坂道を駆け登ったり、駆け下りたりすることで、足の裏の筋肉や全身の体幹が鍛えられます。

石垣のぼりの術

大きな石垣を登って、門をくぐり、飛び石を渡った先が大森庵です。指先からつま先まで、全身を使って登ります。

▲パーゴラ屋根の上にはすだれを置くことで、日陰になると共に適度に風を通し、夏でも過ごしやすい空間に。見た目も和風になります。

▲築山裏の土留めとして、一部コンクリートブロックを設置します。露出部分には板材を張るので景観にも馴染みます。

◀スロープ横の土留めも、樹脂製の杭と板材に入れ替えます。